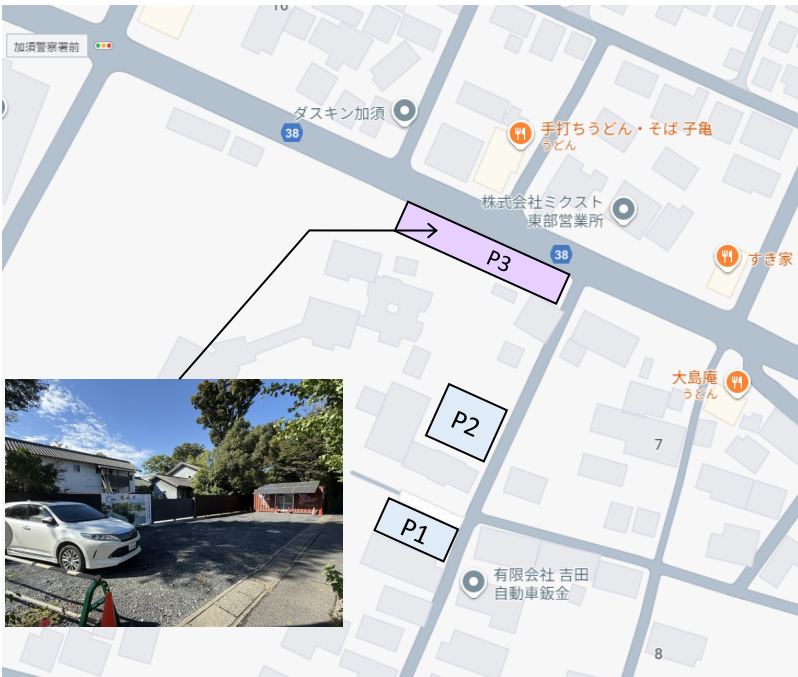


## 境内の整備計画とご報告

檀信徒の皆さまのお声をお聞きし、境内の改善に取り組んでいます。施主としてご寄進されたい方は寺務所までお申し出ください。長寿の報恩、感謝、回忌法要の記念に。それぞれに記録し、三〇万円以上のご寄進は本堂の木札にもお名前を記し、末永く顕彰させていただきます。

### 駐車場の拡張

お盆やお彼岸時には、駐車場が足りず混雑していました。県道三八号線沿いに用地を確保し、駐車場を増やしましたので、混雑時はこちらをご利用ください。普段はP2を優先ください。



### 樹木葬墓宝樹苑 好きな草花を墓標に

樹木葬墓宝樹苑のお一人様用で、蓋石を用いず、草木を墓標としてご利用できるようにしました。宝樹苑ではカロートに骨壺を納め、蓋石をに名前や思いを彫ります。しかしお一人様用では、本来の樹木葬のように自然に還して欲しい（直に埋葬して欲しい）とのご要望があり、好きな草木を選んでいただいて墓標とできるようにしました。骨壺からお骨を取り出し、直に埋葬しますので、三十年後には永代供養墓に土の一部を改葬します。蓋石費用が不要となり、代わりに草木の費用、希望により蓋石に代わる名前を記したプレートを置くこともできます。



墓標として牡丹を植えました。

### 後払いのお一人様向け 樹木葬墓のご案内

一人暮らしの方から、納骨堂や宝樹苑について相談がありました。他界した時の用意をしておきたいが、今の生活も余裕なく、どうしてもいいか分からない、という相談です。龍藏寺ではお一人様向けの永代供養として納骨堂と宝樹苑をご用意しています。それぞれ十万円と四十万円（蓋石代別）の使用料です。いずれも生前に予約できます。宝樹苑の一人用はお申込時に十万円を先納し、残金は亡くなった後に残った財産から後払いもできます。財産が残らなかった場合は、納骨堂での供養とします。行先が無くなることはありません。予約の印として、目立つところに貼れるステッカーを用意しようと思います。

### 本堂裏に蛇口を整備

仮設ですが、年内に本堂裏に蛇口（井戸水）を取り付けます。本設は本堂の基壇改修後となります。

#### 古佛眼山 龍藏寺

住所：〒三三七〇〇六八  
埼玉県加須市大門町一八五一  
寺務所：午前九時～午後四時  
電話：〇四八〇一六一〇八五〇  
Fax：〇四八〇一六二一七九〇〇  
会館：〇四八〇一六一〇八九二（金土日）  
メール：info@ryuzoji.jp

### 餅つきと除夜の鐘

正月準備の餅つきを、毎年十二月二十九日の十時から昼頃まで行っています。手伝いボランティアも募集中です。手伝っていただける方は寺務所までご連絡ください。山内諸堂に飾る鏡餅と、正月のお雑煮用の丸餅を作ります。参加者・参拝者には振る舞いも行いますので、是非お立ち寄りください。除夜の鐘は十二月三十一日の二十三時開始で十二時に一〇八撞目となります。恒例の干支みくじも先着一〇八名様にお配りします。

令和七年八年の年末年始  
鏡餅作り 12月29日 10時開始  
除夜の鐘 12月31日 23時開始  
修正会 1月1日 10時開式

餅つきの手伝いは9時集合。手伝い・搗き手募集中です！除夜の鐘では、恒例の干支みくじを先着108名にお配りします。



今年の干支みくじ



### 寺報（令和7年）冬号 年末年始のご案内

向寒の候、年末が近づき何かとご多用のことと存じます。檀信徒の皆様におかれましては、お変わりなくお健やかにお過ごしでしょうか。顧みますれば、令和七年は、実に目まぐるしい一年でした。いろいろ批判も多かった大阪・関西万博も開催してみれば大評判で、皆様の中にも未来の技術や海外の文化を体験された方もいらっしやるのではないかと思います。またAIの技術の急速な進化に目を見張る一方、世界に目を向ければ未だ各地での対立や不安が絶えない一年でした。まさに「諸行無常」、この世のすべてが目まぐるしく移り変わるという真理を、痛感させられる日々でもありました。

このような激動の時代だからこそ、お釈迦様の「盲亀浮木の譬え」を思い起こします。広い大海原で、百年に一度だけ水面に顔を出す目の見えない亀が、漂流する一本の流木の穴に奇跡的に出会う。その奇跡のような瞬間より、人として生まれる方が難しいという説話です。

技術がどれほど進歩し、世の中が便利になろうとも、この奇跡的に得た「いのち」を生きる私たちにあって、本当に大切なものは何でしょうか。AIやロボットが人がやっている仕事をみんなやってくれるようになった時、AIや機械には決して真似のできないこと、人間が本当にやりたいこと、しなければならぬことはなんなのか、今まさに問われているのではないかと思います。

迎える令和八年が、檀信徒の皆様にとりまして、心安らかな幸多き一年となりますよう、阿弥陀様の御前にて心よりお祈り申し上げます。

合掌 住職





## 我建超世願 必至無上道 斯願不満足 誓不成正覺

毎日読んでいるお経の話をしたと思います。俱会堂の椅子に毎日読むお経、これを日常勤行式といいますが、これをまとめた折本を備え付けています。ぜひ法事のおりに手に取ってご覧ください。その構成は三部構成になっています。

最初が序分。お香を焚いて道場を清め、佛様をお招きして、日頃の行いを懺悔します。次が正宗分で本文に当たります。最後が流通分、結びです。改めて佛様への皈依を誓い、共に極樂浄土に往生しようと決意を称え、道場に招来した佛様を讃えて、お帰りを頂きます。この三部構成を明確にするために、区切りとしてお十念を称えます。

序分と流通分は儀礼的なパートですので、重要なのは正宗分。その中心に据えられているのが四誓偈というお経です。その冒頭にあるのがこの言葉です。

この世を救う願を建てよう  
そして必ずや悟りの境地に到達しよう  
もしこの願が叶わないなら  
私は悟りなどいらない

阿弥陀如来がまだ修行僧であった遙か昔、宝蔵菩薩と呼ばれた時代に建てた誓いです。阿弥陀如来は苦しむ人々を救おうと、四十八個の願を建てます。そして願いが叶わないのなら、成仏などできなくてよいと。宝蔵菩薩は成佛されて阿弥陀如来となったのだから、この願もまた達成され現在も生き続けていると肯定されるわけです。

四十八の願の十八番目が、「私を信じて極樂往

自分を捨てた先に慈悲と幸せの境地があると、釈迦は教えています。

(記 令和七年六月一日)

## その都度そのつど己を磨く

賢者は、順次に少しずつ  
そのつどみずからが汚れを除く  
鍛冶職人が銀の汚れを除くように

(法句經)

誰しも立派になりたいと思うものです。本屋にいれば、成功する秘訣をうたった本が平積みになっています。しかしそれを読んでも大抵はうまくいきません。大きな計画を立てたり、心を入れ換えたりもしますがうまくいきません。お釈迦様は言います。人生は瞬間刹那の決断の積み重ねだと。決断するそのつどに、心が清らかなる方を選べ、良い方を選べと。鍛冶職人が銀を鍛錬するようにと。

その都度そのつど、心に南無阿弥陀仏と称えて、清らかな決断をする。それは誰にでもできる易しい修行法なのです。

(記 令和七年八月五日)

## 感謝の南無阿弥陀佛

南無(なむ)は、インドやネパールの挨拶「ナマステ」と語源が同じです。ナマステは「こんにちはは」と同じ用で使われますが、本来はあなたを敬う、信じる、あなたに感謝しますという意味です。ですの、ナム・阿弥陀佛は、阿弥陀様を信じます、感謝しますという意味になります。つまり南無阿弥陀佛と口で称えることは、「私は佛を信じます」と宣言する、信仰の告白に他なりません。どの宗教でも、キリス

生を願い、私の名前を十回称える者は、全て極樂に往生させる」という念仏往生願であり、法然上人や親鸞聖人、また中国の善導大師が、これだと確信した救いの道です。

法事などで、なむあみだぶ なむあみだぶ と称える場面がありますが、まさにそれがこの願いの実践なのです。

(記 令和七年四月七日)

## 愛する人と会うな 愛していない人とも会うな

法句經にあるお釈迦様の言葉です。結婚式では使えそうにありませんが、含蓄のある言葉です。この言葉は続きます。

愛する人に会わないのは苦しい。  
愛していない人に会うのも苦しい

仏教でいう「愛」とは愛欲、つまり他者への執着を意味します。執着の愛は見返りを求める愛と言いつてもよいと思います。

夫婦げんかの原因を考えてみますと、多くが見返りを求めて得られないことが原因ではないでしょうか。

見返りを求めない愛をお釈迦様が何と呼んだか、それが慈悲です。愛を越え、慈悲への到達を目指すのが佛の道です。

愛を挟んで慈悲と反対にあるのが無関心です。深く愛することが禍の原因だとすれば、いっそ無関心にと、極端に向いてしまいがちですが、それもまた我執、己への執着であると釈迦はいいます。無関心もまた、自分を守ろうと自分に執着した結果なのだと。

ト教でもイスラム教でも信仰の告白はとても重要です南無阿弥陀佛と称えることもそれと同じです。

阿弥陀様の何を信じるかという点、現世でも来世でも、阿弥陀様が救ってくださるという救済が現実にある、ということ。死後、阿弥陀様に導かれて極樂浄土に転生(往生)し、苦しみ満ちた人間世界に再び生まれることはない。救済は約束されていますので、自ずと現世でも感謝の念が湧き出してくる。南無阿弥陀佛は信仰の告白であると同時に、阿弥陀様への感謝の言葉でもあるわけです。

簡単な言葉ではありますが、法事などで一緒に称えましょうと声をかけると、素直に称える方もおられます。別の信仰をお持ちという方もいらっしゃると思いますが、なんとなく抵抗がある、気恥ずかしいという感じ。理由は人それぞれで、これまでの長い人生に起きた因縁がそうさせているのです。素直に称えられる人はこれまでの人生の因縁により往生の準備が整っている、なんとなく抵抗がある、なにかが邪魔をして素直に口にできないという方は、それはそれでこれまでの人生の因縁による結果で、もう少し時間がかかるということなのです。

さて、法然上人は南無阿弥陀佛と称えるうちに、極樂往生間違いないとされる三つの心、佛を素直に信じる心、深く信じる心、往生を願う心も自然に備わってくると仰いました。素直に南無阿弥陀佛と口に称えられるご縁をお持ちであれば、今は深い信仰がなかったとしても、南無阿弥陀佛と称えるうちに、自然と深い信仰が身について成長していくのです。

(記 令和七年十月五日)

## お寺からのお知らせ

### お念仏の会 テンプルモーニング

毎月第一日曜日、朝の七時からお念仏とお掃除の会を開いています。月初めの朝を心清らかに始めませんか。令和八年の予定は次の通りです。

一月四日(日)、二月一日(日)  
三月一日(日)、四月五日(日)  
五月三日(日)  
六月七日(日)  
七月五日(日) 十四時 新盆法要  
八月二日(日入盆)、九月六日(日)  
十月四日(日)、十一月一日(日)  
十二月六日(日)

### 行事・法要

一月一日 元日会(十時)  
三月十七日、二十三日 春のお彼岸  
五月八日 誕仏会(はなまつり)  
七月五日 新盆法要・盆施餓鬼木札  
開眼法要(十四時)  
八月一日、九月一九日  
施餓鬼供養受付木札授与  
八月十三日 お盆迎え火(五時から)  
八月十六日 お盆送り火  
九月二十日 施餓鬼法要(十四時)  
九月二十日、二十六日 秋のお彼岸  
十二月二十九日 餅つき(十時)  
十二月三十一日 除夜会(二十時)

### 新規墓地の利用

境内の整理で新しく造成した墓地を、ご希望の檀信徒・ご親戚にお分けしています。志三十万円から。

### 樹木葬・宝樹苑の利用

境内の樹木葬・宝樹苑をご利用頂きます。現在檀信徒でない方も、ご利用いただけます。ペットのみの埋葬はできませんが人と一緒のご利用は可能です。詳しくはHPをご覧ください。お一人用四十万円・二人用六十万円

### 納骨堂(二十三夜堂)の利用

境内にある二十三夜堂を納骨堂としてご利用いただけます。現在檀信徒でない方も、ご利用いただけます。詳しくはHPをご覧ください。一柱十万円。

### 龍藏寺ホームページ [ryuzoji.jp](http://ryuzoji.jp)

本寺報、法事のお申込用紙、連絡先の追加登録用紙など、ホームページからもダウンロードできます。

### 写経・散華の奉納の受付

本堂・ご自宅での写経を随時受け付けています。またご先祖様の菩提・家内繁栄を祈願して俱会堂散華の祈願奉納をおすすめしています。お申し込みは寺務所にお立ち寄りください。

